

市町村名	渡名喜村						
平成 2 7 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	渡名喜村多目的拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)	
担当部署名	民生課	事業実施（予定）年度	平成26～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子ども預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	27年度（繰越）	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,188	103,431	-		
		(b) 予算現額	20,304	158,260	-		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 884	54,829	-		
		(d) 繰越額	-	-	61,680		
		A. 計 (b+d)	20,304	158,260	61,680		
	B. 執行済額		20,304	96,433	61,463		
	うち交付金充当額		16,243	77,146	49,170		
	次年度繰越額		-	61,680	-		
	執行率（％）(B/A)		100.0%	60.9%	99.9%		
予算の状況の説明		新施設建設に先立ち既存建物の解体工事について、PCB等の廃棄物が発見され、その処理に当たり計画の見直しが必要となったことから、年度内の事業完了が困難となった。不用額364千円は、入札残によるものであり、総じて計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
				27年度	27年度（繰越）	28年度	29年度
	実施設計	目 標	（ 実施設計の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	実施設計の実施				
	解体設計	目 標	（ 解体設計の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	解体設計の実施				
	測量土質調査	目 標	（ 測量土質調査の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	測量土質調査の実施				
	施工管理	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
解体工事の設計	目 標	（ ）	（ 既存施設解体工事の実施 ）	（ ）	（ ）		
	実 績		既存施設解体工事の実施				
資料収納倉庫の建設	目 標	（ 倉庫設置工事の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
	実 績	倉庫設置工事の実施					
達成状況説明	H27年度において多目的拠点施設に係る実施設計業務、測量・土質調査業務及び倉庫設置工事を実施した。また、H28年度へ繰越した既存施設解体工事についてはH27年度繰越事業としてH28年度中に解体工事を完了した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	27年度	27年度（繰越）	28年度	目標値（年度）
	平成29年4月1日の供用開始に向けた事業の着実な実施（実施設計書の完成）	目 標	（ 実施設計の完了 ）	（ 実施設計の完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		実施設計の完了			
	解体工事の完了	目 標	（ 実解体工事の完了 ）	（ ）	（ 解体工事の完了 ）	（ ）	（ ）
		実 績			解体工事の完了		
	資料収納倉庫の建設完了	目 標	（ 倉庫設置工事の完了 ）	（ 倉庫設置工事の完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		倉庫設置工事の完了			
進捗状況説明	今年度予定した測量・土質調査業務及び倉庫設置工事については計画どおりH27年度中で実施し、期間を要する実施設計についても計画どおりH27年度中で完了することができた。 解体工事についても繰越となったが、H28年度中に完了することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・既存施設の解体工事において、PCB等の廃棄物が発見されたことから、処理にあたってPCB処理会社との協議を実施する必要が生じた。それに伴い、当初予定していた期間内に解体工事を完了できず、建築工事について計画の見直しが必要となった。 ・解体工事の遅延により建築工事の着手期間が当初計画より遅れる見込みである。	解体工事については、産業廃棄物等の発見等も予想されるため、解体期間に幾分かの期間をとり、不足の事態に対応できるように今後取り組みたい。また、計画の見直しについても関係部局との調整を速やかに行い、事業が円滑に実施できるよう努める。
今後の取り組み方針		
当該事業により策定された実施設計に基づき、次年度は多目的拠点施設を建設する。施設を整備後は、災害時を想定した避難訓練を実施していく。また、幼児・児童と老人との異世代間交流及び福祉関係に関する祭り及び資料館を使用した渡名喜村の歴史を知るための観光イベントなどを実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
157,896	157,896	126,316	31,580	0
渡名喜村 157,896千円 委託料 52,920千円 (有)め〜ばる設計工房 43,416千円 (株)協和建設コンサルタント 3,780千円 アート技研(株) 5,724千円 工事請負費 104,976千円 (株)川平土木 87,804千円 (有)国風建設 17,172千円 渡名喜村多目的拠点施設整備事業 渡名喜村多目的拠点施設整備事業 渡名喜村多目的拠点施設整備事業 渡名喜村多目的拠点施設整備事業 既存施設解体工事 渡名喜村倉庫設置工事				
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ・予算規模についても積算による設計に見合った適正な規模であったと考えている。 ・費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		